

令和3年第2回恵那市議会定例会施政方針

本日、ここに令和3年第2回恵那市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、御多用中にもかかわらず御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。令和3年度の当初予算案をはじめとする関係議案の御審議をお願いするにあたり、市政運営の基本政策及び予算編成方針並びに主要施策について御説明申し上げ、議員並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたく存じます。

はじめに、新型コロナウイルスの感染者は、国の緊急事態宣言に伴う基本的対処方針に基づいた対策により、全国的に減少傾向にあるものの、いまだ収束の見込が立たない状況にあります。本市では、令和2年3月17日に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、市民アンケートや医療・福祉関係者、教育関係者、事業所・金融機関関係者などから意見を伺いながら、「感染防止対策」、「教育関連」、「市民生活の安全確保と支援」、「市内企業・事業所支援」の4つの柱に沿って対策を講じるとともに、これまでに11回にわたる補正予算をお願いし、コロナ対策の予算として合計73億7,138万6千円を議決していただき、事業を進めてまいりました。議員並びに市民の皆様の御理解と御協力で改めて感謝を申し上げます。

令和3年度は、ワクチン接種の迅速かつ適切な実施に全力で取り組むとともに、引き続き、感染防止対策や市内事業者の継続支援、高齢者の公共交通利用支援などを実施してまいります。

(令和3年度市政運営に当たっての基本政策)

それでは、市政運営の基本政策について申し上げます。本年は、令和2年9月に策定いたしました「第2次総合計画後期基本計画」と「第4次行財政改革大綱」のスタートの年であります。これらを着実に推進するとともに、コロナ社会へ対応し、その後を見据えた施策を引き続き、「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」の4本の柱で取り組んでまいります。

はじめに「はたらく」については、地域経済活性化のため、稼ぐ力の強い、持続可能な地域産業の形成を目指す「産業振興ビジョン」を見直し、商工業、農林業それぞれに再構築し、事業者の育成や支援に取り組んでまいります。

アフターコロナに対応するため、起業や業態転換を支援するとともに、サテライトオフィスやテレワーク、企業とのマッチングによる在宅ワークなどを総合的に応援してまいります。

将来的な企業誘致につなげるため、本市での企業研修の開催に取り組むとともに、恵那西工業団地の整備や新たな工業団地開発の可能性を調査し、引き続き、働く場の創出に取り組んでまいります。

「たべる」については、持続可能な食料自給を構築するため、耕作放棄地を利用した高収益作物の生産などにより、カロリーベースでの食料自給率100%を目指

した調査や検討を進めてまいります。また、市内産豚肉の販路の確保や消費拡大事業を進め、豚熱からの復活を応援してまいります。

子供たちに安全で美味しく魅力ある給食が提供できるよう、恵那市学校給食センターにアレルギー対応給食の調理室を整備するとともに、食物アレルギー対応支援栄養管理システムの導入や山岡学校給食センターの改修工事を進めてまいります。

食による健康づくりや郷土料理の伝承を推進するため、料理人によるオンライン講座など、「えなえーる」からの情報発信を強化してまいります。

「くらす」については、地域福祉を推進し、セーフティネットの強化を図るため、社会福祉協議会などと協働で重層的支援体制整備事業の実施に向け、包括的な支援体制の構築を進めてまいります。

県道恵那八百津線を補完する市道飯地中野方線の整備を進めるとともに、河川の氾濫被害を軽減するため、8つの河川で土砂を浚渫してまいります。また、防災情報の見える化を進めるため、市内36か所の河川水位情報をケーブルテレビのデータ放送や市ウェブサイトで配信してまいります。

リニアを生かしたまちづくりを進めるため、恵那峡サービスエリアへのスマートインターチェンジ設置の検討などを実施するとともに、魅力的な住宅地を確保するため、区画整理事業等の可能性を調査してまいります。

「まなぶ」については、新しい学びのスタイルを確立するため、1人1台のタブレット端末や学習アプリを活用した学習を進めるとともに、市内の小中学校を結んだ遠隔事業を行うなど、ICT教育を推進してまいります。また、オンラインによるサテライトキャンパス構想についての調査や実証実験などに取り組んでまいります。

小中学校の施設整備を計画的に進めるため、三郷小学校の老朽化した校舎の大規模改造工事を令和3年度から2か年で実施し、教育施設環境を改善してまいります。

(令和3年度予算編成方針)

続きまして、令和3年度の予算編成方針及び予算総額について、御説明申し上げます。

政府は、新型コロナウイルス感染拡大に万全を期しつつ、デジタル化や少子高齢化に伴う構造的な課題などに対応する総額106兆6,097億円の令和3年度一般会計予算案を閣議決定しました。その中で地方の安定的な財政運営に必要となる地方交付税は、17兆4,385億円と前年度比較8,503億円増加し、一般財源総額については、交付団体ベースで61兆9,932億円と前年度を2,414億円上回る額を確保する措置が講じられています。こうした中、本市の令和3年度予算は、新型コロナウイルス感染症の影響による諸課題に対応するとともに、第2次総合計画後期基本計画の開始年として、計画を着実に進めるための予算を確保し、市民の誰もが住み慣れた地域で、年齢や性別に関わりなく元気に働き続け、安心して住み続けることができるまちを目指した予算を編成いたしました。

(令和3年度予算総額)

令和3年度の予算額について御説明申し上げます。

一般会計の歳入では、市税は、新型コロナウイルスの影響による法人市民税の落ち込みや評価替えに伴う家屋の固定資産税の減額により、前年度比較5%減の3億6,340万円の減収を見込んでいます。地方譲与税及び諸交付金は、財源となる税収の落ち込みにより、4,400万円の減収を、固定資産税の減免等を補てんする地方特例交付金は、7,370万円の増収を見込んでいます。また、普通交付税及び臨時財政対策債は、地域デジタル化推進事業の創設や一般財源不足の補てん制度により、合計で2億円の増収を見込んでいます。

歳出では、新型コロナウイルス感染症への対応として、小中学校やこども園への防疫品の配備、カッとく！応援チケット！事業やプレミアム付商品券事業、高齢者の公共交通利用支援事業などに約5億5千万円の予算を計上するなど、全体では、前年度比較1.8%、4億7千万円増の260億3千万円の予算としました。

特別会計では、国民健康保険事業特別会計は、前年度比較0.4%、2,090万円増の53億630万円、介護保険事業特別会計は、介護給付費の伸びにより、3.5%、2億40万円増の59億9,730万円とし、全体では、1.9%、2億2,500万円増の120億5,620万円の予算としました。

企業会計では、下水道事業会計の収益的支出が固定資産減価償却費の減などにより、前年度比較9.4%、2億270万円減、病院事業会計の資本的支出が電子カルテシステム更新などにより、20.7%、2億480万円増など、全体では、2.7%、2億5,900万円減の92億6,770万円の予算としました。

<令和3年度の予算総額>

| | | | | |
|-------|-----|-------------|--------|-------------|
| ○一般会計 | ・・・ | 260億3,000万円 | (前年度比較 | 4億7,000万円) |
| ○特別会計 | ・・・ | 120億5,620万円 | (前年度比較 | 2億2,500万円) |
| ○企業会計 | ・・・ | 92億6,770万円 | (前年度比較 | ▲2億5,900万円) |
| 合計 | | 473億5,390万円 | (前年度比較 | 4億3,600万円) |

(令和3年度の主要施策)

それでは、令和3年度の主要な施策及び事業について、第2次総合計画後期基本計画の7つの基本目標に沿って説明させていただきます。

(1. 安心して暮らす)

基本目標の第1は、「安心して暮らす」です。

子育て世代が安心して働けるために、21の放課後児童クラブの運営支援を行うとともに、大井第三学童保育所へ空調設備を設置し、保育環境を整えてまいります。

高齢者福祉の増進を図るため、介護老人保健施設ひまわりの大規模改修に増床計画を加えた設計を行うとともに、早期に整備を進めてまいります。

防災拠点への電力供給など災害への対応力を強化するため、民間企業と地域新電

力合併出資会社を設立し、エネルギー地産地消モデルの構築を目指してまいります。

（2. 生命と財産を守る）

基本目標の第2は、「生命と財産を守る」です。

子供たちが安全安心に通学できるよう、学校周辺の歩道のない通学路へ、グリーンラインを7年間で25.6キロ、令和3年度は3.9キロを設置してまいります。

火災や救急事案への対応を強化するため、恵那消防署の水槽付消防ポンプ車の更新や救急車へ自動心臓マッサージ装置を整備してまいります。また、地域防災の要の消防団活動を支援するため、活動服を新基準のものへ更新するとともに、耐用年数を経過した飯地コミュニティ消防センターの大規模改修を行ってまいります。

市立恵那病院では、脳血管疾患治療の質を向上させるため、新たに脳神経外科を開設するとともに、診療情報や健康診断の結果などを一元的に管理する電子カルテシステムを更新し、医療の充実に努めてまいります。

（3. まちの魅力を高める）

基本目標の第3は、「まちの魅力を高める」です。

日本の棚田百選に認定されている坂折棚田の保全活動や多面的機能の維持増進に関する活動を支援し、魅力ある地域資源を磨き上げるとともに、市内の豊かな自然を守り、森林の多面的機能維持や災害防止を図るため、林業就業者の移住や技能講習、安全装備品の購入を支援するなど、林業の担い手確保に努めてまいります。

地域の歴史的・文化的資源を保存伝承し、活用していくため、明知城跡周辺の関係遺跡の分布調査を行うとともに、国指定史跡の正家廃寺の史跡公園化に向けた整備計画の策定や支障木の伐採を行ってまいります。

（4. 便利に暮らす）

基本目標の第4は、「便利に暮らす」です。

持続可能な地域公共交通を実現するため、明知鉄道や自主運行バスなど既存の交通ネットワークを維持するとともに、ICTを活用した効率的かつ利便性の高い公共交通サービスの構築に取り組んでまいります。また、過疎地域の買い物弱者を支援するため、引き続き、移動販売車を運行してまいります。

（5. いきいきと暮らす）

基本目標の第5は、「いきいきと暮らす」です。

地域全体で子供たちの学びと成長を支えるため、学校と地域が連携して行う地域学校協働活動を推進するとともに、恵那南高等学校の特色ある学校づくりを引き続き、支援してまいります。また、地域の生涯学習活動の拠点を充実させるため、三郷コミュニティセンター大規模改修工事や飯地コミュニティセンターの改修に向けた実施設計を進めてまいります。

地域を活性化するため、新たな制度により、Uターンや子育て世帯の移住定住を支援するとともに、宿泊体験などを通じ、関係人口の創出に向けた環境づくりを支援してまいります。

(6. まちを元気にする)

基本目標の第6は、「まちを元気にする」です。

ジバスクラム恵那と連携し、物販や宿泊、体験を一元化した予約販売サイトの構築を進め、市内事業者の販売力や人材力、商品力の向上を図ります。

誘客促進を図るため、道の駅おばあちゃん市・山岡のリニューアル工事を進めるとともに、多様な観光ニーズに対応した新しい観光パンフレットを作製してまいります。また、大河ドラマ効果を持続させるため、大正ロマン館の特別展示「東美濃戦国史」を継続し、山城や歴史文化をPRするなど、明智光秀公ゆかりの地の充実を地域と共に進めてまいります。

東京オリンピックの事前キャンプに係る準備やポーランドカヌーチームとのホストタウン事業を進め、スポーツを通じた国際交流を図ってまいります。また、WRC世界ラリー選手権を通じた地域振興に取り組むとともに、車文化に優しいまちづくりの取組を進めてまいります。

(7. みんなでまちをつくる)

基本目標の第7は、「みんなでまちをつくる」です。

持続可能な地域づくりや地域活性化を図るため、1億8千万円を目標にふるさとえな応援寄附金を募り、各地域が取り組む「がんばるまちづくり活動」などに活用してまいります。また、旧岩村振興事務所の有効活用について、市民の皆様と共に検討してまいります。

女性が活躍できるまちづくりを進めるため、「えなえーる」を活用し、子育てと仕事の両立に向けたセミナーなどを開催してまいります。

以上、令和3年度の市政運営における所信の一端を申し上げます。特に「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」に重点を置き、新しい恵那市の実現を目指してまいります。議員並びに市民の皆様のご理解と御協力をお願い申し上げます。

(令和3年第2回恵那市議会定例会提案説明要旨)

次に、議案の提案理由について概要を説明させていただきます。

本定例会に提出した議案は、合計38件です。

議第2号から議第15号までは、条例の一部改正について、議第16号及び議第17号は、条例の廃止について、議第18号は、変更契約の締結について、議第19号及び議第20号は、財産の無償譲渡についてであります。

議第21号の恵那市副市長の選任については、現副市長である大塩康彦（おおし

お やすひこ) 氏の任期満了に伴い、再び同氏を選任することについて、議会の同意をお願いするものです。

議第22号の人権擁護委員の候補者の推薦については、現委員である丸山年道(まるやま としみち) 氏の任期満了に伴い、新たに千藤彰将(せんだう あきまさ) 氏を推薦することについて、議会の意見をお願いするものです。

議第23号から議第29号までは、令和2年度恵那市一般会計及び特別会計並びに企業会計の補正予算であり、一般会計補正予算では、全体で10億1,165万6千円の増額補正を行い、一般会計の歳入歳出総額を355億3,137万円とし、特別会計補正予算では、全体で6,308万3千円の増額補正を行い、特別会計全体の歳入歳出総額を120億3,965万8千円とするものです。企業会計では、全体で6,975万6千円の減額補正を行い、企業会計支出総額を94億7,971万2千円とするものです。

議第30号から議第39号までは、前述した主要施策に基づく令和3年度恵那市一般会計及び特別会計並びに企業会計に係る予算について議決をお願いするものです。

以上で提出議案の説明を終わります。なお、詳細につきましては、担当部長などから説明をさせますのでよろしく御審議の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年2月25日

恵那市長 小坂 喬峰